祝うは嬉れたりは 三代に亘れる りて りし この寮に 一世紀 恵迪寮

団欒も楽したの 記念祭

歳を重ねて 恵はないてき

には

自今は女子 日夜になった。 高カラティ なりし 励けみ 理り想き 男子らは 探求むなり 心など

創成川の 若ゥ 憩ヒ 木タ い 拓きたる野は 柳なぎ ビル 何ぃ 処ェ への 谷^たに

> 共に過せし 世ょ に 寮友らと語 に触れし にも希なる 兀 思い出を な 若き日の この時ぞ 楽しみは

歌き 我れ 自じ きゅめ かっか かっか かっか かっか かっか かっむ 老の青春を老の青春を 三夢むは ば 千万世 永さした に ŋ

Ŧi.

る

歌き尚な 割って な Ā

不に伝う とな ŋ 紳士道と 楡ポプラ